

十二所地区で民生委員・福祉員の合同研修会 生活支援コーディネーターも協力し初開催

令和5年11月8日『民生委員・福祉員合同研修会』が十二所公民館にて開かれました。今回は、民生委員と福祉員の連携について考えることを目的とした研修会で、十二所地区では初めての開催となりました。

＜ 内容 ＞

- ① 民生委員・福祉員の共通点、違い
- ② 連携事例の紹介
※『救急医療情報キットの設置』、『集いの場づくり』、『見守り活動』、『防災マップづくり』などで連携している。
- ③ グループ討議



グループ討議『10年後(2033年)十二所地区がどのような地域であれば安心できますか?』(意見の一部を紹介します)

グループ討議は近隣町内ごとに4つのグループに分かれおこなわれました。

民生委員・福祉員の連携のヒントが見えてくるかもしれません。



- ・高齢化が進むと交通手段(足)が問題となる。
互いの助け合いが今以上に必要になるであろう。
- ・除雪がスムーズにおこなえる。
- ・民生委員福祉員の範囲でなく、自治会の充実。
- ・地域活性化のため保育園・小学校・中学校をなくしてはならない。
- ・若い人が地域にとどまる工夫をしている。



支え合い通信に関するお問い合わせ先

社会福祉法人 大館市社会福祉事業団
ケアプランセンターおおたき ☎ 0186-47-7222
担当：生活支援コーディネーター 市村(いちむら)

支え合い通信閲覧のQRコード

